



2月の月間目標

かぞくのひととはなしをしよう!

普段、親子で話す時間はどれくらいありますか。親も子どももそれぞれ忙しく、なかなか話す時間もないかもしれません。でも、子どもは親と話するのが大好きです。今日あったこと、友達とのこと、趣味のこと、話したいことがたくさんあります。限られた時間の中で多くのことは話せないかもしれませんが、毎日何か一つだけでも親子で話してみましょう。たとえ短い時間でも、毎日話すことが、大切な親子のコミュニケーションとなります。



親子で話したいと思っても、その時間をわざわざつくるのは難しいかもしれません。でも大丈夫です。普段の生活の中で話す機会をもてば、自然と話す時間はできるものです。

こんなときに話しましょう!

- 食事の時間
- お風呂に親子で入る時間
- 布団に入って眠るまでの時間

他にも「送り迎えの時間」「ペットの散歩の時間」など、話せるタイミングはたくさんあります。毎日の生活の中で、ゆったり楽しく親子で話をしましょう。



日本の子どもは親と話すのが好き!

平成29年度に、日本、米国、中国、韓国の小学生を対象として実施された国際比較調査によると、日本の小学生の9割強が「親(保護者)と話すのが好き」と回答し、4か国中最も高いという結果が出ました。

親(保護者)と話すのが好きですか【小学生】

国	とても好き	まあ好き	あまり好きではない
日本	55.2	35.9	8.3
米国	57.2	30.8	11.4
中国	48.6	35.8	12.7
韓国	37.3	46.9	14.2

また、小学生が話している内容は、
 ①学校のこと ②友達のこと ③勉強のこと
 ④趣味や自分の好きなこと
 ⑤社会の出来事やニュース
 ⑥自分の将来のこと の順でした。

【出典】インターネット社会の親子関係に関する意識調査報告書
 -日本・米国・中国・韓国の比較-(国立青少年教育振興機構)



子どもが話をしてきたら、しっかり耳を傾け、「そうなんだね」「良かったね」などとあいづちをうちながら大切に聴きましょう。たとえわずかな時間でも、親が子どもの話に関心をもって聴き、親子で心から楽しみ、共に考える時間になれば、子どもの心は満たされます。そして、子どもは親の愛情とともに、自分が認められていることを感じ、親への信頼感を深めていきます。家庭が信頼でき安心できる場所となれば、思春期になり、たとえ親と話すことが少なくなっても、子どもは家庭を心の拠り所としながら、少しずつ自立への一歩を踏み出していけるようになるでしょう。

子どもが親に何でも話してくれる時期はそんなに長くはありません。家族で会話できる大切な時間を、親子で一緒に楽しみましょう。



毎月第3日曜日は「家庭教育・家庭の日
 (いきいきサンデー)」です

奈良県立教育研究所
 (令和2年2月発行)



家庭教育
 Web ページ